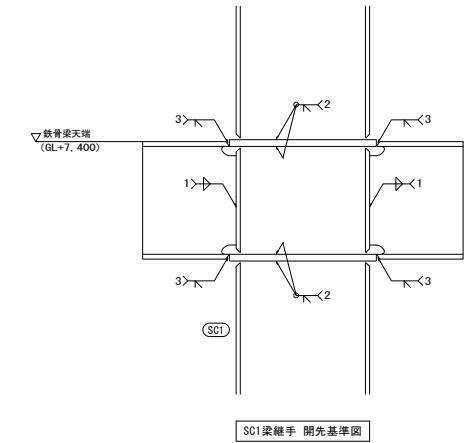
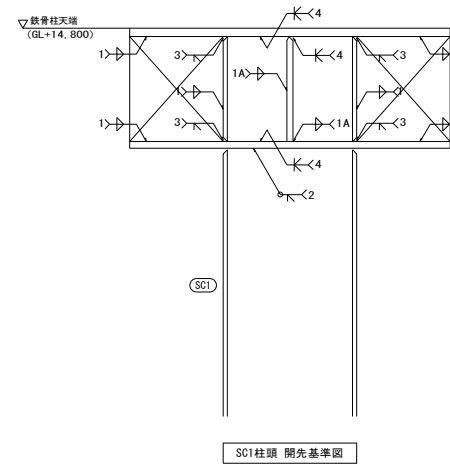


開先基準図		(手：アーク手溶接、002：ガスシールドアーク半自動溶接、S/M：サブマージアーク自動溶接)		(単位mm)																																		
1	両面隅肉溶接	手・002・S/M	1A	両面異形隅肉溶接	手・002・S/M																																	
T≤16		T S 16<T≤32	1B	片面隅肉溶接	手・002																																	
	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>5(6)</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>14</td><td>10</td></tr> <tr><td>16</td><td>12</td></tr> </table>	6	5(6)	9	7	12	9	14	10	16	12		<table border="1"> <tr><td>T</td><td>D</td></tr> <tr><td>19</td><td>6</td></tr> <tr><td>22</td><td>7</td></tr> <tr><td>25</td><td>8</td></tr> <tr><td>28</td><td>9</td></tr> <tr><td>32</td><td>10</td></tr> </table>	T	D	19	6	22	7	25	8	28	9	32	10	<table border="1"> <tr><td>T</td><td>S</td></tr> <tr><td>6</td><td>5</td></tr> <tr><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>14</td><td>10</td></tr> <tr><td>16</td><td>12</td></tr> </table>	T	S	6	5	9	7	12	9	14	10	16	12
6	5(6)																																					
9	7																																					
12	9																																					
14	10																																					
16	12																																					
T	D																																					
19	6																																					
22	7																																					
25	8																																					
28	9																																					
32	10																																					
T	S																																					
6	5																																					
9	7																																					
12	9																																					
14	10																																					
16	12																																					
○内はS/Mの時を示す。 TはT1、T2いずれか薄い板厚とする。		TはT1、T2いずれか薄い板厚とする。		TはT1、T2いずれか薄い板厚とする。																																		
2	レ形開先完全溶込み溶接	手・002	3	レ形開先完全溶込み溶接	手・002																																	
---	裏あて金使用	T≤19	裏はつりをする	19<T	裏はつりをする																																	
5	I形開先完全溶込み溶接	手・002	6	レ形開先部分溶込み溶接	手・002																																	
T≤9	裏はつりをする	T≤16	---	16≤T	---																																	
			D1=(T-2)/2																																			
8	フレア溶接	手・002																																				
T≤9	裏はつりをする	<table border="1"> <tr><td>T</td><td>S</td></tr> <tr><td>1.6</td><td>2.3</td></tr> <tr><td>3.2</td><td>4</td></tr> <tr><td>4.0</td><td>4.5</td></tr> </table>	T	S	1.6	2.3	3.2	4	4.0	4.5																												
T	S																																					
1.6	2.3																																					
3.2	4																																					
4.0	4.5																																					
共通事項																																						
1. 溶接部の処理		3. 補強すみ肉溶接 (S1 - S2)																																				
a. 開先のある溶接の両端では、健全な溶接の全断面が確保できるようにエンドタブを取付ける。 ただし、その他の適切な方法により溶接端部の欠陥を防止しようと係員が認めた場合は、この限りではない。		T≤40mmの場合は S1=T/4、S2=1/8 T>40mmの場合は S1=10mm、S2=5mm																																				
b. 隅肉溶接の端部は、まれし溶接を行なう。		4. 余盛 (Δ a, h)																																				
c. アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接のエンドタブは、鋼製で扁平と同じ形状とし長さ35mm以上とする。また鋼製エンドタブにかわり鋼鉄つらクラックスタブまたは、セラミックスタブを使用してもよい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>図</th> <th>管理許容差</th> <th>限界許容差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0≤Δa≤0.4S</td> <td>0≤Δa≤0.6S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かつ4mm以下</td> <td>かつ0mm以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>- B<15mm 0.5mm≤h≤3mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(4/25)Bmm</td> <td>- B<15mm 0.5mm≤h≤5mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(6/25)Bmm</td> </tr> </tbody> </table>				図	管理許容差	限界許容差		0≤Δa≤0.4S	0≤Δa≤0.6S		かつ4mm以下	かつ0mm以下		- B<15mm 0.5mm≤h≤3mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(4/25)Bmm	- B<15mm 0.5mm≤h≤5mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(6/25)Bmm																					
図	管理許容差	限界許容差																																				
	0≤Δa≤0.4S	0≤Δa≤0.6S																																				
	かつ4mm以下	かつ0mm以下																																				
	- B<15mm 0.5mm≤h≤3mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(4/25)Bmm	- B<15mm 0.5mm≤h≤5mm - 15mm≤B<25mm 0.5mm≤h≤5mm - 25mm≤B 0.5mm≤h≤(6/25)Bmm																																				
d. サブマージアーク自動溶接のエンドタブは扁平と同じ形状で幅75mm以上かつ板厚の3倍以上長さ150程度とする。																																						
e. エンドタブは溶接終了後配筋などの後工程に支障が生じない限り、そのまま残してもよい。 ただし、鉄骨塗で見えかがりとなる箇所は5~10mm残して切断する。																																						
2. スクラップ																																						
スクラップ半径は、r1=30mm、r2=10mmを標準とする。																																						



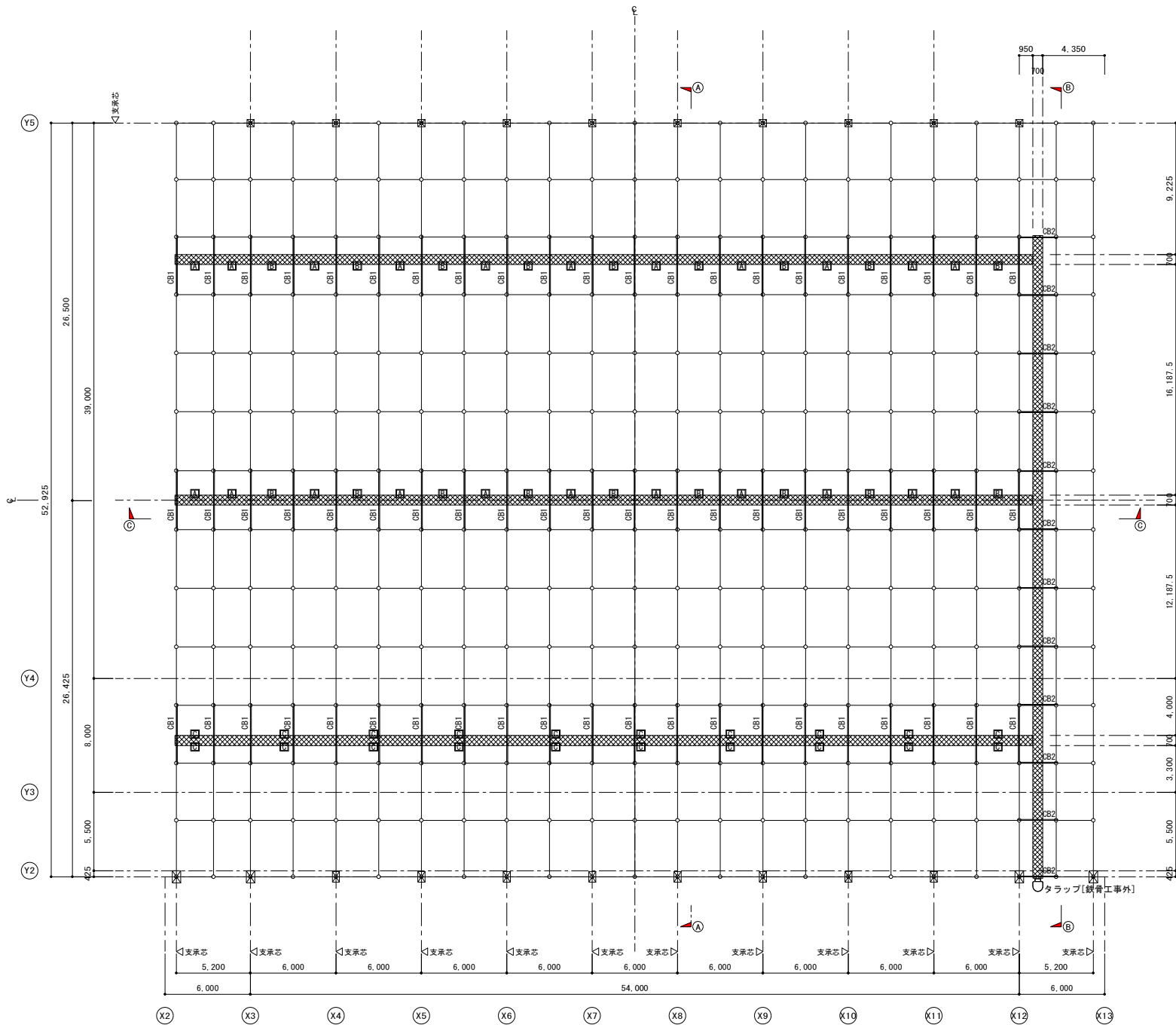
現場溶接用エレクションピース 詳細図

【註記事項】

- エレクションピースは本体溶接終了後切断撤去の上グラインダー仕上げ(10mm残し)とする。
- SG2の上フランジ側現場溶接部は溶接終了後溶接部およびエレクションピース切断箇所をグラインダー仕上げにより平滑にする。
- 建入調整治具を使用する場合は各柱の形状、重量に応じて、エレクションピースの板厚、形状、ボルト本数を決定する。

部位	サイズ	材質
エレクションピース	PL-9x140x150	SN400B
S. PL	2PL-6x290x80 2PL-6x380x80	SS400
HTB	2-M16	S10T, F10T


部位	サイズ	材質
エレクションピース	PL-16x200x150	SN490B
S. PL	2PL-9x500x80	SS400
HTB	3-M16	S10T, F10T

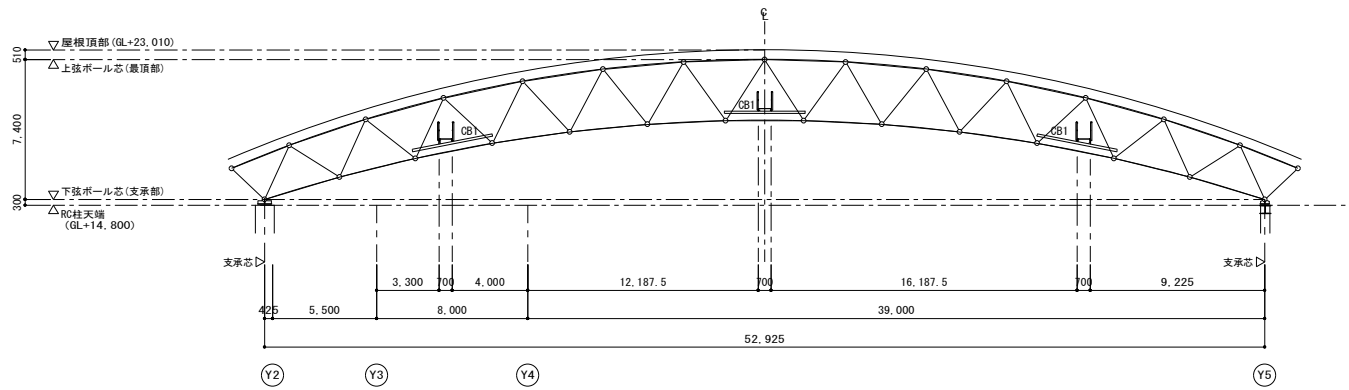


キャットウォーク配置図

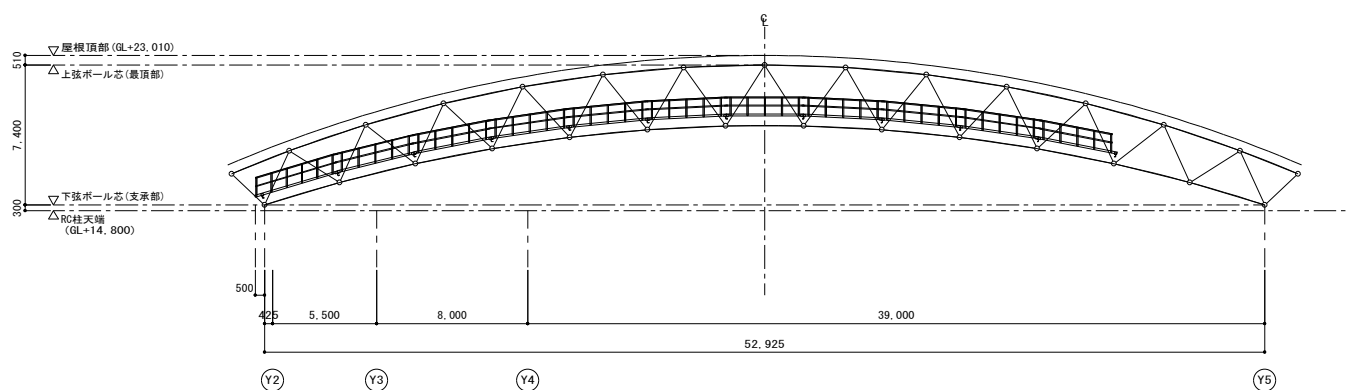
(註記) 表記はキャットウォーク (CW) を示す
 印は照明器具設置位置を示す[印内の符号は照明器具符号を示す] (設備図参照)
 架構図は下弦ボール面屋根トラスを示す

立花構造設計事務所
代表取締役 立花 薫

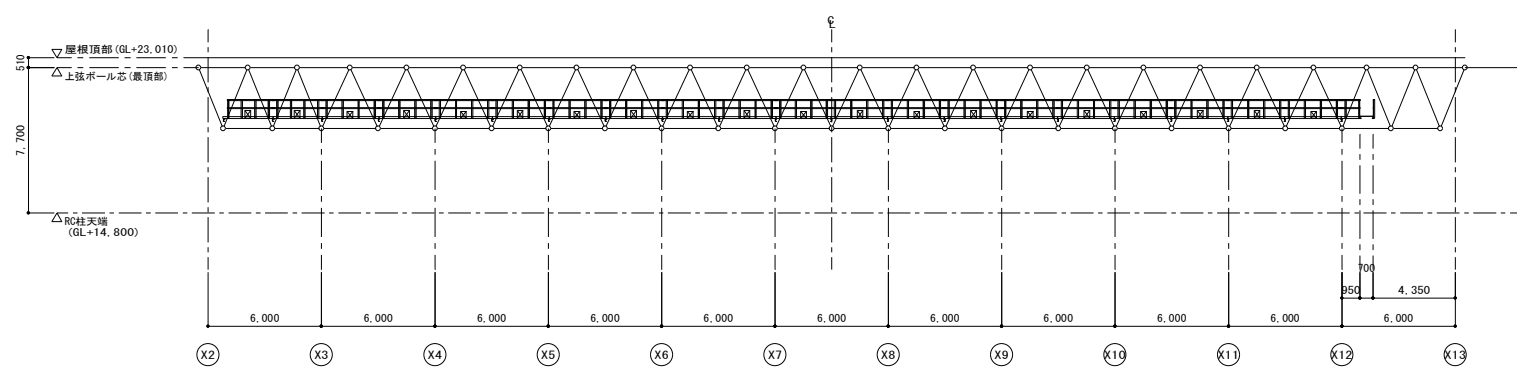
	JOB	徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事		NO	S-53	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村 史朗	1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491
	TITLE	キャットウォーク配置図	SCALE	DATE			
			1:200	2021/02/26			



キャットウォーク(A)-(A)断面図




キャットウォーク(B)-(B)断面図



キャットウォーク(C)-(C)断面図

(註記) ☒印は照明受ピース位置を示す

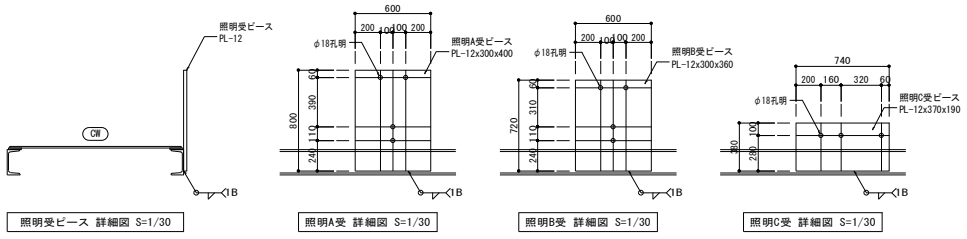
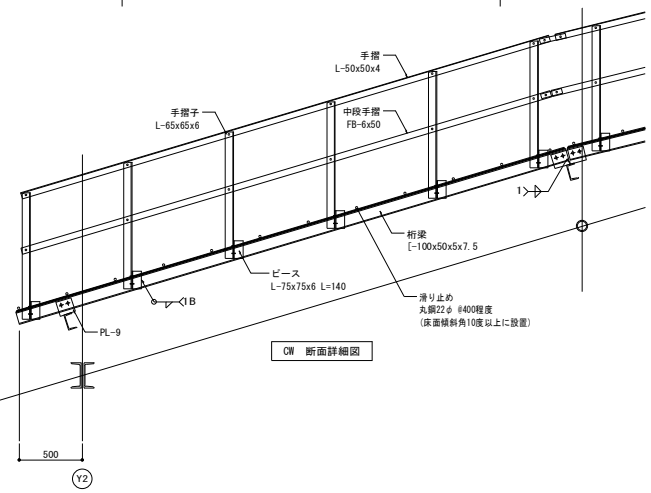
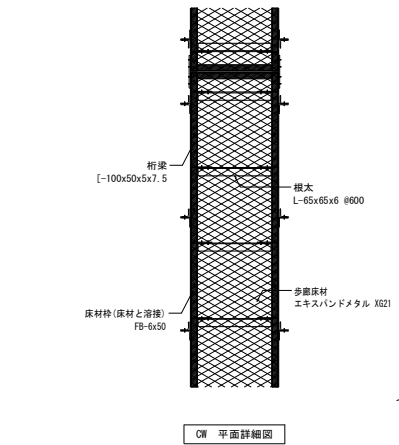
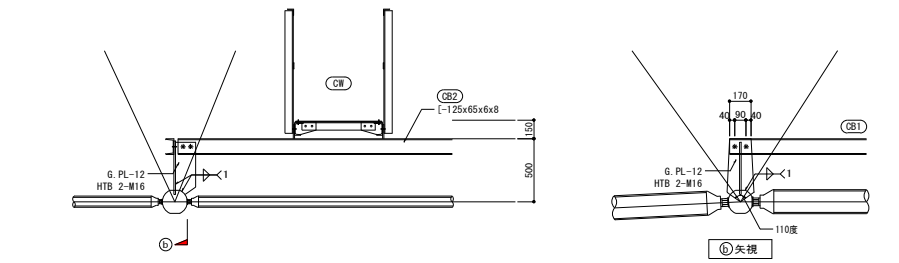
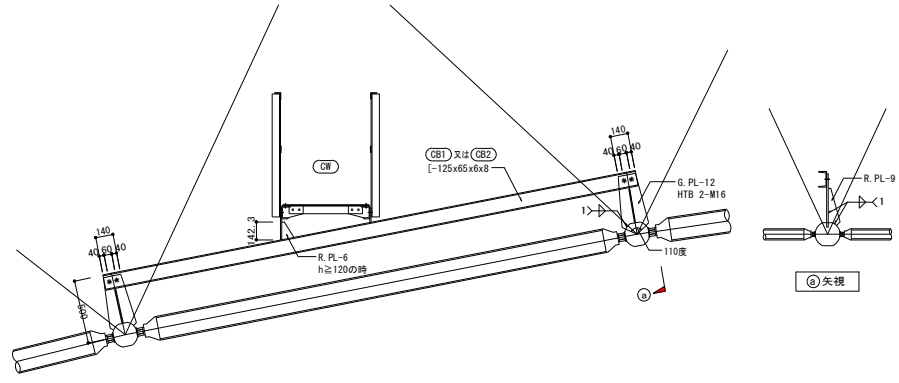
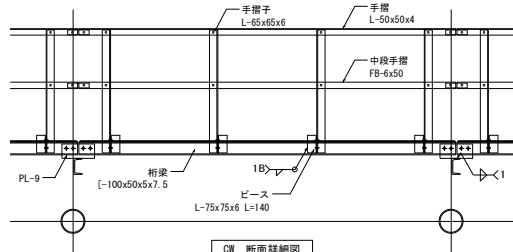
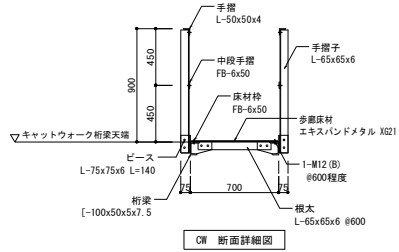
	JOB	徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事	NO	S-54	 株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗	1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491
	TITLE	キャットウォーク断面図	SCALE			
			1:200	2021/02/26		

立花構造設計事務所
 代表取締役 立花 薫

キャットウォーク詳細図

【註記事項】

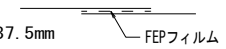


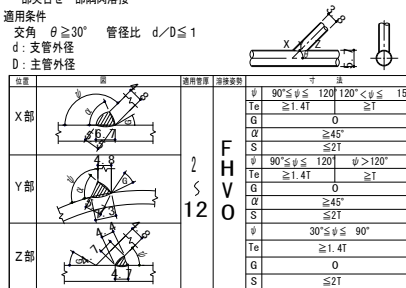
- 1) システムトラス部は、別図参照の事
- 2) PL-表示の鋼板材質 (T=4.5以下及び、RF表示は除く) は、特記なき限り SN400B とする
- 3) HTB 表示の鋼材ボルトは、F10T 又は S10T とする
- 4) (B) 表示のボルトは、普通ボルト (強度区分4.6又は4.8) とする



キャットウォーク関係 部材リスト

符号	部位	サイズ	材質	取合	備考	
CB1	CW受梁	[-125x65x6x8]	SS400	G. PL-12<SN400B>	HTB 2-M16	
CB2	CW受梁	[-125x65x6x8]	SS400	G. PL-12<SN400B>	HTB 2-M16	
CW	桁梁	[-100x50x5x7.5]	SS400	PL-9<SN400B>	2-M16 (B)	
	根太	L-65x65x6 #600	SS400	G. PL-6<SS400>	2-M12 (B)	
	歩面床材	エキスパンドメタル XG21		床材枠 FB-6x50<SS400>【溶接】	1-M12 (B)	めっき仕様
	手摺子	L-65x65x6 #800 1,000程度	SS400	[-75x75x6<SS400>【溶接】	2-M12 (B)	
	手摺	L-50x50x4	SS400		1-M12 (B)	ジョイント部 FB-4.5x38<SS400>、1-M12 (B)
	中段手摺	FB-6x50	SS400		1-M12 (B)	ジョイント部 FB-4.5x38<SS400>、1-M12 (B)
	滑り止め	丸鋼22φ #400程度	SS400	溶接		床面傾斜角10度以上に設置
照明受ベース	PL-12	SS400	溶接		サイズおよび孔位置は詳細図参照	

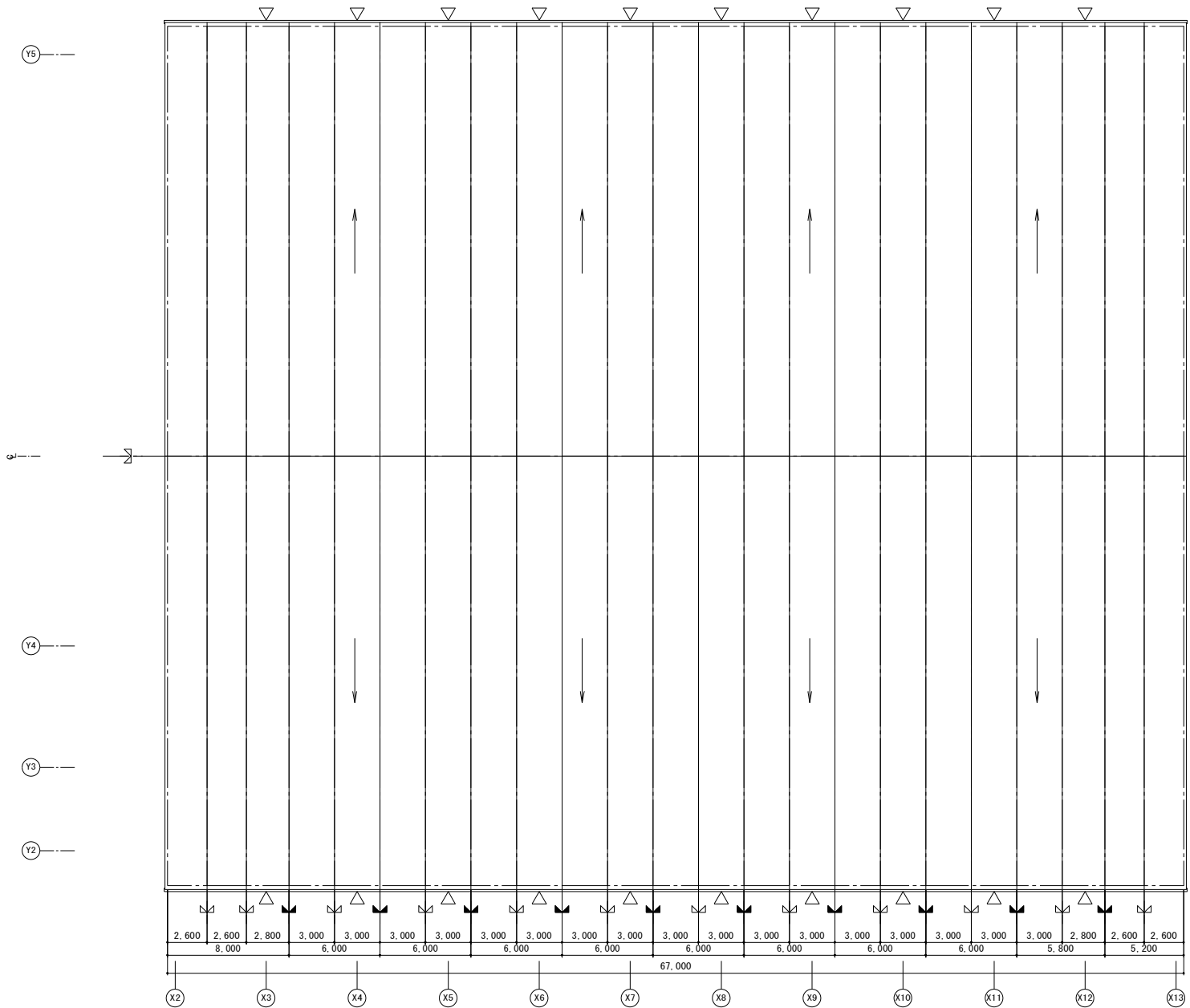
膜構造部仕様書

鉄骨工事	構造用鋼材 種類・材質	一般構造用鋼材 ● SS400 [鋼板・平鋼・形鋼] ● STK400 ○ STKR400 ● STK490 [炭素鋼鋼管] ○ STKR490 [角形鋼管] ○ SSC400 [軽量形鋼] ○ その他 ()	建築構造用鋼材 ○ SN400A ○ SN400B ● SN400C ○ SN490A ○ SN490B ● SN490C ○ その他 ()	膜工事	膜材料	国土交通省告示第666号第二、二の表の(一)に適合する膜材料: 認定番号 ● MEM-9029 (○ FGT-800、 ● FGT-600、 ○ FGT-800A、 ○ FGT-600A) FGT-600 (厚さ0.6mm) 酸化チタン光触媒微粒子含有 (両面) ※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。 ※一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場 (全ての膜材料を加工する工場) で加工すること。 ※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。																																				
	溶接構造用鋼材	○ SM490A ○ その他 ()	膜材溶着部		国土交通省告示第666号第二、五、一の二に規定する接合とする FEPフィルムを介した熱溶接。 溶着巾 ● 75mm ○ 50mm ○ 37.5mm 																																					
	高力ボルト	○ F10T (S10T) ● F8T (溶融亜鉛メッキ高力ボルト) *摩擦接合では鉄骨の摩擦面の処理に注意する。摩擦面のすべり係数を0.45以上 (溶融亜鉛メッキされた鉄骨の場合は0.40以上) 確保するため、「プラスト処理・特殊塗料塗布、他」を行なう。	膜定着部		国土交通省告示第666号第三、1のイ(1)に規定する定着方法とする 1. 膜定着プレート * 膜材は、膜定着プレート又はファスナーでクランプする。 膜定着プレート: アルミ押し出し型材又はアルミプレート (A-6061S-T6) アルマイト9μ、クリア7μ仕上  ファスナー: アルミ押し出し型材 (A-6061S-T6) アルマイト9μ、クリア7μ仕上 																																					
	中ボルト	● JIS規格品 (SM付き) ○ その他 ()	溶接		2. 膜定着ボルト ボルト径 ● M12 ● M10 材質 ○ SUS304 ● SUS316 ○ 溶融亜鉛メッキ ○ ユニクロメッキ																																					
鋼管の溶接	一部突合せ一部隅肉溶接 適用条件 交角 θ ≥ 30° 管径比 d/D ≤ 1 d: 支管外径 D: 主管外径 	溶融亜鉛メッキ	塗装工事	溶融亜鉛メッキ <table border="1"> <tr><th>等級</th><th>板厚</th></tr> <tr><td>HDZ35</td><td>1.6mm以上</td></tr> <tr><td>HDZ45</td><td>3.2mm以上</td></tr> <tr><td>HDZ55</td><td>6mm以上</td></tr> </table> 溶融亜鉛メッキの上、常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り <table border="1"> <thead> <tr><th>工程</th><th>塗料名</th><th>塗布量 (kg/m²)</th><th>塗装方法</th><th>施工区分</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 素地調整</td><td>リン酸塩 もしくは スイープラスト</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2 下塗り (1回目)</td><td>変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109</td><td>0.14</td><td>吹付・はけ</td><td>工場</td></tr> <tr><td>3 下塗り (2回目)</td><td>エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MIO)</td><td>0.14</td><td>吹付・はけ</td><td></td></tr> <tr><td>4 中塗り</td><td>鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)</td><td>0.14</td><td>はけ・吹付</td><td>現場</td></tr> <tr><td>5 上塗り</td><td>鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)</td><td>0.10</td><td>はけ・吹付</td><td></td></tr> </tbody> </table>	等級	板厚	HDZ35	1.6mm以上	HDZ45	3.2mm以上	HDZ55	6mm以上	工程	塗料名	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	施工区分	1 素地調整	リン酸塩 もしくは スイープラスト				2 下塗り (1回目)	変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109	0.14	吹付・はけ	工場	3 下塗り (2回目)	エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MIO)	0.14	吹付・はけ		4 中塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)	0.14	はけ・吹付	現場	5 上塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)	0.10	はけ・吹付	
等級	板厚																																									
HDZ35	1.6mm以上																																									
HDZ45	3.2mm以上																																									
HDZ55	6mm以上																																									
工程	塗料名	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	施工区分																																						
1 素地調整	リン酸塩 もしくは スイープラスト																																									
2 下塗り (1回目)	変性エポキシ樹脂プライマー JASS 18 M-109	0.14	吹付・はけ	工場																																						
3 下塗り (2回目)	エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料 (MIO)	0.14	吹付・はけ																																							
4 中塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (中塗り塗料)	0.14	はけ・吹付	現場																																						
5 上塗り	鋼構造物用耐候性塗料 JIS K 5659 (上塗り塗料1級)	0.10	はけ・吹付																																							

立花構造設計事務所
立花 薫

JOB	徳島県蔵本公園ブルスタンド改築工事のうち建築工事	NO	S-56
TITLE	膜部仕様書	SCALE	DATE 2021/02/17

株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗
1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491




屋根膜
 FGT-600 (厚さ0.6mm) 酸化チタン光触媒微粒子含有 (両面)
 MME-9029 (建築基準法第37条第二号)
 NW-8665 (建築基準法第2条第九号 不燃材料)
 ※一般社団法人日本緑化技術協会第1種正会員であること。
 ※一般社団法人日本緑化技術協会の緑化加工工場認定制度に登録された工場(全ての緑化材料を加工する工場)で加工すること。
 ※緑化材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを敷いていること。

- は水流れ方向を示す。
- ≡ は中間固定着部を示す。
- ≡ は膜分割部を示す。
- ▽ は縦樋、落とし口(集水樹)

屋根伏図 1:200

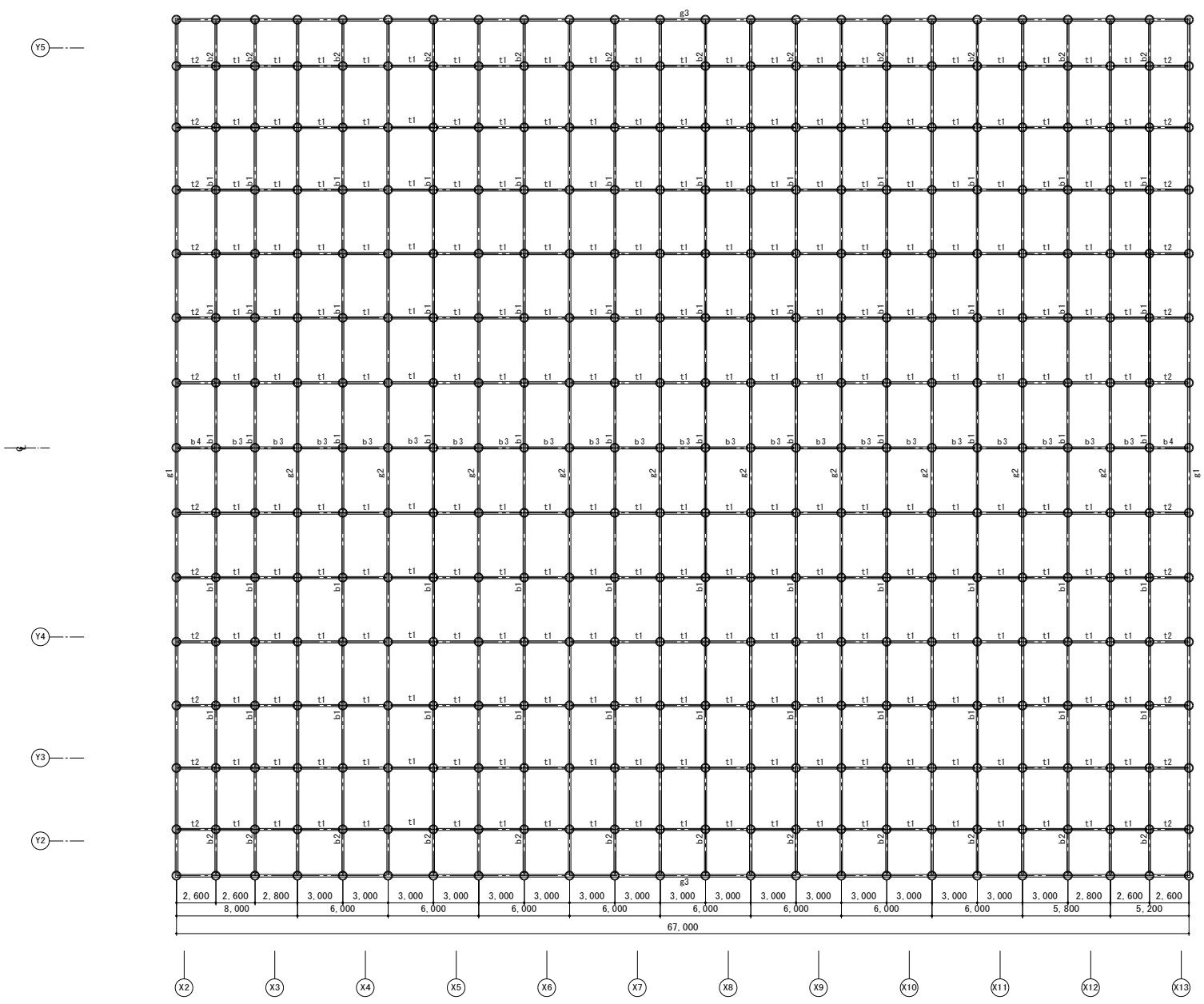
	JOB	徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事		NO	S-57
	TITLE	屋根伏図	SCALE	DATE	
			1:200	2021/02/17	



株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

立花構造設計事務所
立花 薫

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491



母屋伏図 1:200

○(註記)印はポール取り合い位置を示す

母屋部材リスト
 [註記事項]
 1) 溶融亜鉛めっき仕様とする
 2) めっき抜き及び空気抜きは、工面による

符号	サイズ	材質	備考
g1	P-190.7φ x5.3t	STK490	
g2	P-165.2φ x4.5t	STK400	
g3	P-165.2φ x3.7t	STK400	
b1	P-139.8φ x4.0t	STK400	
b2	P-139.8φ x6.6t	STK400	
b3	P-139.8φ x3.5t	STK400	
b4	P-139.8φ x6.6t	STK400	
t1	P-139.8φ x3.5t	STK400	
t2	P-139.8φ x4.0t	STK400	
屋根膜	FGT-600 (厚さ0.6mm) 酸化チタン光触媒微粒子含有 (両面) ※一般社団法人日本環境衛生協会「厚生委員であること。 ※一般社団法人日本環境衛生協会の附加工程認定制度に登録された工場(全ての原材料を加工する工場)で加工すること。 ※原材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕様を要していること。	不燃材料	

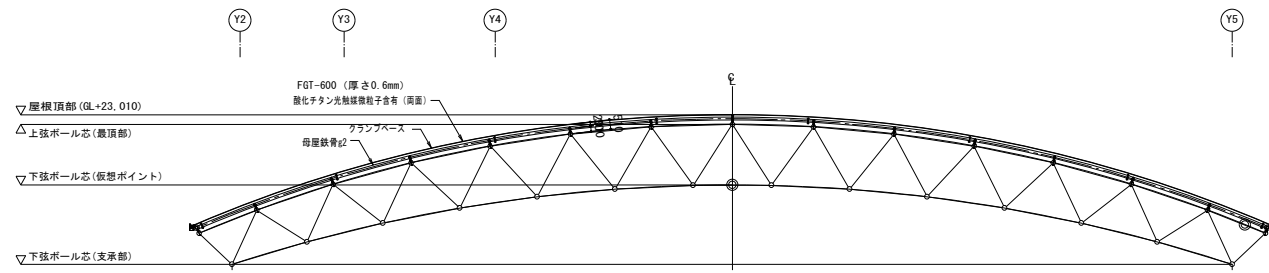
立花構造設計事務所
 立花 薫



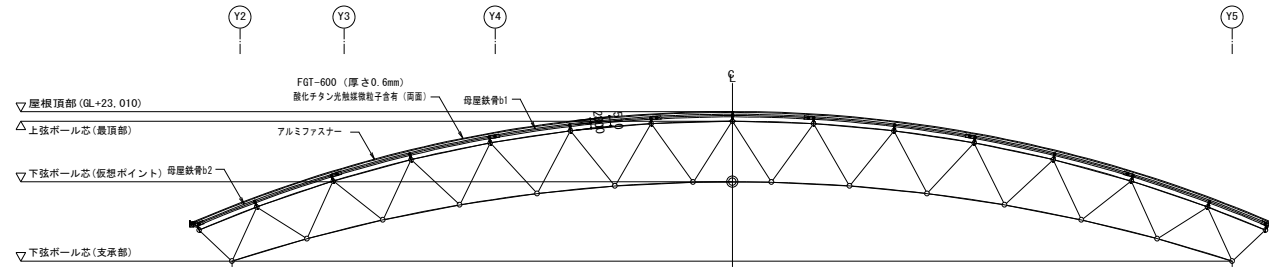
株式会社 松村建築計画研究所
 管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
 PHONE (088) 686-6491

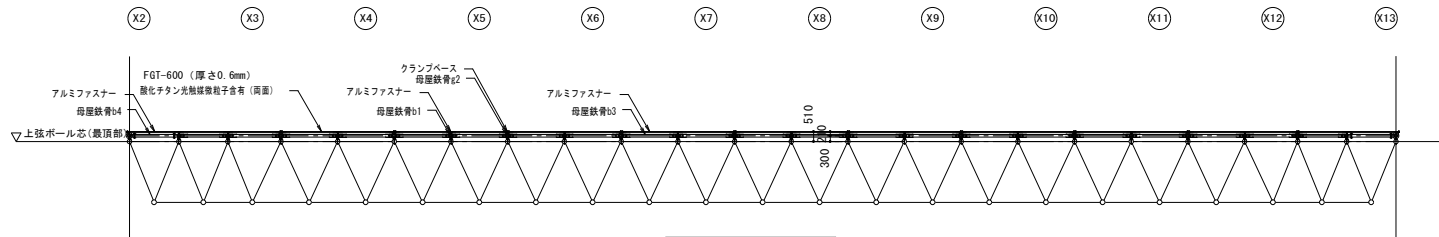
	JOB	徳島県蔵本公園プールスタンド改築工事のうち建築工事		NO	S-58
	TITLE	母屋伏図	SCALE	DATE	
			1:200	2021/02/17	



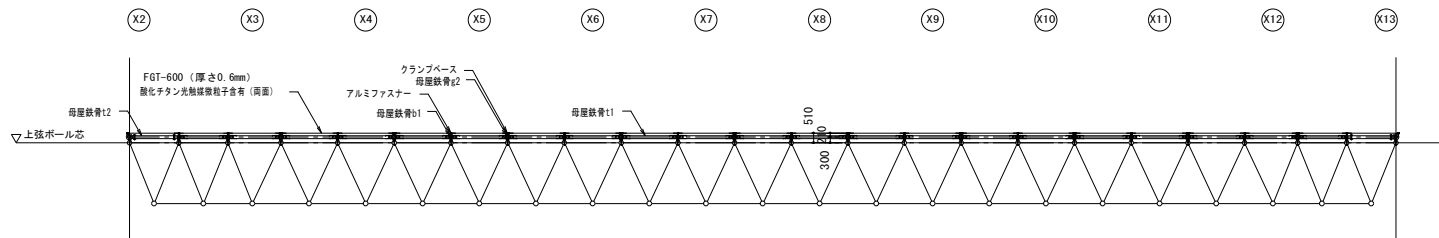
断面図 (分割部) 1:150



断面図 (中間定着部) 1:200



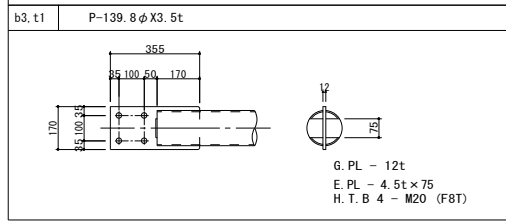
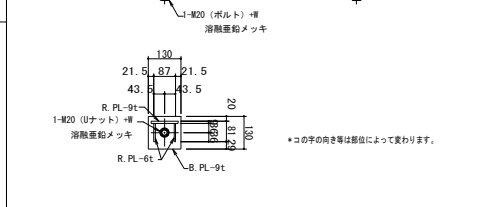
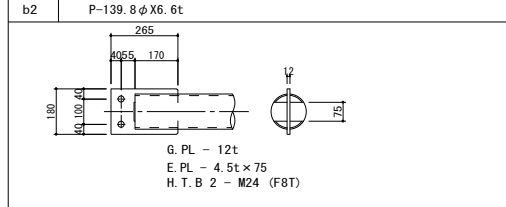
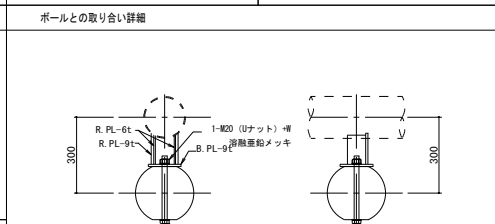
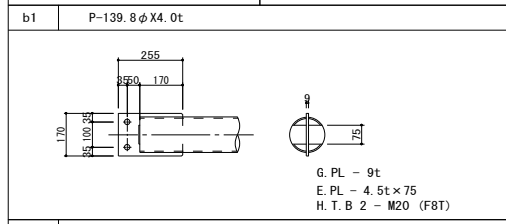
断面図 (棟部) 1:200



断面図 (一般部) 1:200

	JOB	徳島県蔵本公園ブルスタンド改築工事のうち建築工事		NO	S-59
	TITLE	母屋断面図	SCALE	DATE	
			1:200	2021/02/17	

<p>g1 P-190. 7φX5. 3t (STK490)</p> <p>側面図 断面図</p> <p>フランジルーバイブ間は突きあわせ溶接とする。</p>	<p>g2 P-165. 2φX4. 5t</p> <p>側面図 断面図</p> <p>フランジルーバイブ間は突きあわせ溶接とする。</p>	<p>g3 P-165. 2φX3. 7t</p> <p>側面図 断面図</p> <p>フランジルーバイブ間は突きあわせ溶接とする。</p>	<p>b4 P-139. 8φX6. 6t</p> <p>側面図 断面図</p> <p>フランジルーバイブ間は突きあわせ溶接とする。</p>	<p>t2 P-139. 8φX4. 0t</p> <p>側面図 断面図</p> <p>フランジルーバイブ間は突きあわせ溶接とする。</p>
---	--	--	--	--



プレキャスト及びプレストレストコンクリート工事特記仕様書

(3F PC段梁・スタンPC段床)

1. 一般事項

a. 適用の範囲

本仕様書は、本工事の内

- (1) 現場打ちプレストレストコンクリート梁 (以下PC大梁という)
- (2) プレキャストコンクリート段梁 (以下PCa段梁という)
- (3) プレキャストプレストレストコンクリート段床 (以下PC段床という)

及び、これに付随する部分について適用する。

b. 準拠基準・規程

本仕様書・特記仕様書ならびに設計図書に図示されていない事項は、

- (1) 全国官報販売協同組合『2009年版プレストレストコンクリート造技術基準解説及び設計・計算例』
- (2) 日本建築学会『プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説』
- (3) 日本建築学会『プレストレスト鉄筋コンクリート (Ⅲ種PC) 構造設計・施工指針・同解説』
- (4) 日本建築学会『鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説』
- (5) 日本建築学会『建築工事標準仕様書・同解説 (JASS5) 鉄筋コンクリート工事』
- (6) 日本建築学会『建築工事標準仕様書・同解説 (JASS10) プレキャスト鉄筋コンクリート工事』による。又、これらに指示されていない事項は、監督職員の指示によるものとする。

c. 構造方式・プレストレス導入方式

本建築物のプレストレス導入方式は下記の通りとする。

- (1) PCa段梁・PC段床は工場に於いて、プレキャスト部材として製作する。
- (2) PC段床は、工場に於いてプレテンション方式でプレストレスを導入する。
- (3) PC大梁は、現場に於いてポストテンション方式でプレストレスを導入する。

d. 製作要領

プレキャスト部材の製作にあたっては事前に調査計画、製造方法、養生方法等を検討し、「製作要領書」を監督職員に提出して、その承認を受けた後に製作を行うものとする。又、使用材料のミルシートを提出するものとする。

e. 施工計画

施工の順序・方法・工程等の施工計画は、工事着手前によく検討し、「施工計画書」を監督職員に提出して、その承認を受けた後に施工を行うものとする。

2. 材料

a. 鉄筋

鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112)	SD295A D16以下 SD345 D19以上~D25以下 SD390 D29以上
--------------------------	--

溶接金網 (JIS G 3551)

b. PC鋼材

PC鋼より線 (JIS G 3536)

使用場所	PC大梁		PC段床	
	用途	ポストテンション用	プレテンション用	
使用鋼材	SNPR7BLφ12.7mm	SNPR7ALφ9.3mm	SNPR7BLφ12.7mm	
引張荷重	183.0 kN/本	88.8 kN/本	183.0 kN/本	183.0 kN/本
降伏荷重	156.0 kN/本	75.5 kN/本	156.0 kN/本	156.0 kN/本
許容引張荷重	導入時	132.60 kN/本	64.18 kN/本	132.60 kN/本
	定着時	124.8 kN/本	60.4 kN/本	124.8 kN/本
導入張力	124.8 kN/本	60.4 kN/本	124.8 kN/本	124.8 kN/本
伸び	3.5 % 以上	3.5 % 以上	3.5 % 以上	3.5 % 以上

c. PC鋼材の定着工法

(一財)日本建築センターの評定を取得している定着工法 (VSL工法 (BCJ評定-RC0323-01) 等) とする。

d. 溶接機手、鉄筋機械機手

H12建設省告示1463号に適合することについて、(一財)日本建築センターの評定または評価を受けたものとし、鉄筋機手性能評価定基準のA級機手以上の性能を有するものとする。

e. セメント

セメントはJIS R 5210に規定する普通または早強ポルトランドセメントとする。

f. コンクリート

コンクリートの品質は下表の通りとし、その割合は試験練りにより定めることを原則とする。

使用場所		PC大梁	PCa段梁	PC段床	PCa踏み石
設計基準強度 (※)	N/mm ²	27	27	50	24
プレストレス導入時圧縮強度	N/mm ²	27	—	35	—
粗骨材最大寸法	mm	20	20	20	20
スランプ	cm	12	12	12	12

g. 混和材

コンクリート中に混和材を用いる場合は、その品質・使用量について監督職員の承認を受けるものとする。

h. 支保材 (パッキン材)

覆質ゴム系支保材 (パッキン材) を使用する。

i. 成型目地材

ガスケット (シリコンポンジ) 及び同等品以上を使用する。

j. シーリング材

シーリング材は変成シリコン系シーリング材とする。

k. 目地グラウト

目地グラウトの28日圧縮強度は、部材の設計基準強度以上とする。

3. 型枠及びPC鋼材の配置

a. プレキャスト部材の型枠は、鋼製又は木製とし、振動・取り外し・組立・放置等の為に狂いが生じないように充分強固にし、コンクリート打設作業中に支障のないように製造するものとする。

b. PC鋼材は所定位置に正しく配置し、コンクリート打設作業中に狂いが生じないように、組立鉄筋・スターラップ等に緊結するものとする。

c. PC大梁のPC鋼材位置の許容誤差は下記によるものとする。

部材の最小寸法が60cm未満の部分	±1.0 cm
部材の最小寸法が60cm以上の部分	±1.5 cm

d. PC段床のPC鋼材位置の許容誤差は±3.0 mm以下とする。

c、d共通でPC鋼材位置の許容誤差は、垂直・水平の方向に別々に適用するものとする。

4. コンクリートの打ち込み、養生

a. コンクリートの打ち込みにあたっては、打設方法・締め締め・養生方法等についてあらかじめ監督職員の承認を受けるものとする。

b. コンクリートは層状に端部より中央に打ち進め、間断なく作業するものとする。

c. コンクリートの打ち込みには、型枠振動機又は内部振動機を用いて充分振動締めを行うものとする。

d. コンクリート打設後は充分な湿度を与え養生するのはもちろんであるが、プレストレス導入に要する強度に達するまでは特に慎重に養生するものとする。

5. 試験及び検査

a. コンクリートの圧縮強度試験用供試体は、直径10cm・高さ20cmの標準供試体モードを用いて製作する。

b. プレストレス導入時の圧縮強度試験用供試体の養生は製作中の部材と同一養生とし、材令28日の圧縮強度試験用供試体の養生は標準養生とする。

c. プレストレス導入時の圧縮強度試験及び材令28日の圧縮強度試験は、それぞれ一回の打設につき3個の供試体について行い、その結果を記録するとともに監督職員に報告するものとする。

d. 材令28日の圧縮強度が、試験の結果所要の強度に達しない部材は、不合格とする。

e. プレキャスト部材の検査は型枠寸法及び外観について行い、検査の結果製品の不良箇所が修正可能と認められたときは必要な補修を行い再検査を受けることができる。また、修正不可能なときは取り換えを命ずることができる。

6. プレストレッシング

a. プレストレス導入の時期は、コンクリートの圧縮強度が 2. 材料 f. コンクリート に示すプレストレス導入時圧縮強度に達した時とする。

b. プレストレッシングの管理は、ジャッキ圧力計の張力とPC鋼材の伸び量を測定して行うものとする。

7. グラウト工事

a. 目的

グラウトは、PC鋼材を充分に包み込みPC鋼材を錆びさせないように保護するとともに、PC鋼材とコンクリートとの付着を得ることを目的とする。

b. 配合

グラウトの配合は、下表を標準とし、設計基準強度は 30 N/mm² 以上とする。

水セメント比	45%以下
混和剤 (ノンブリーディングタイプ)	セメント量の1.0%

グラウトの練り混ぜは電動グラウトミキサーを使用するものとする。

c. 作業

- (1) シース内の閉塞の有無を確認する。
- (2) グラウトの注入は、グラウトポンプを用いシース内に空気を残さないように入念に行う。
- (3) 排出孔より流出するグラウトが注入孔より注入するものと同じ濃度になるまで注入を続け、排出孔を塞ぐ。
- (4) 排出孔を塞いだ後に覆いて注入孔を塞ぐ。

8. PC鋼材の端部処理 (保護モルタル)

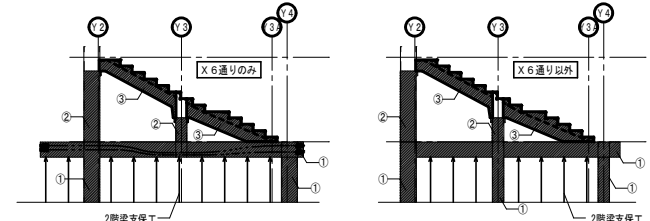
PC鋼材定着具の露出部は、プレストレス導入後すみやかに無収縮モルタル等で完全に保護するものとする。

9. 架設及び据え付け

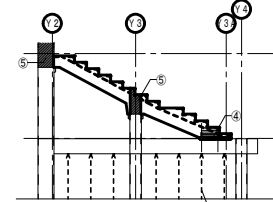
a. 架設用機械器具の種類及び配置、架設方法、順序等充分に検討の上施工計画書を提出し、監督職員の承認を受けることとする。

b. 据え付けは、所定の位置、高さに正確に据え付けるものとする。

10. PCa段梁架設手順



- ① 1階柱・2階梁のコンクリート打設 (X6通りのみPCa梁の緊張)
- ② 段梁受け柱の打設 (2F柱)
- ③ 段梁の架設



- ④ 目地モルタル・鉄筋機械機手グラウト注入
- ⑤ Y2・Y3通り接合部のコンクリート打設
- ⑥ 支保工の解体

11. 施工業者

プレキャストコンクリート工事の施工は、PC専門業者の責任施工とする。PC専門業者は原則、下記の社の内社とし、監督職員の承認を受けることとする。

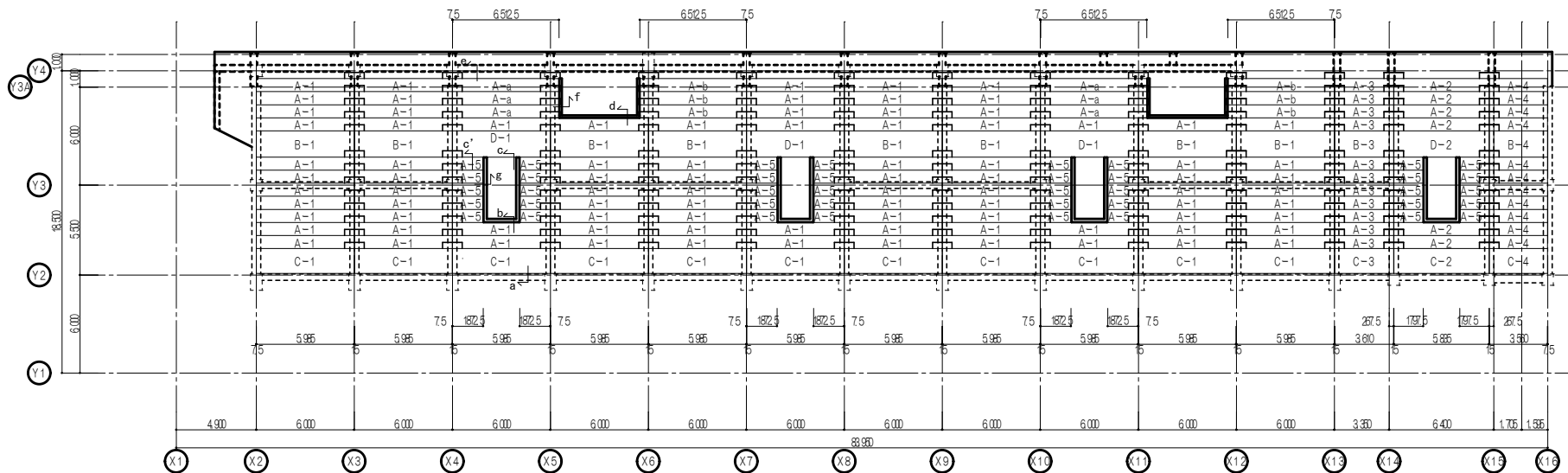
- ・株式会社 建研
- ・オリエンタル白石株式会社
- ・株式会社シーエス三菱

尚、施工の範囲はPCa段梁・PC段床の製作、運搬、架設、据え付け、およびPC大梁を含むPC鋼材の配置・緊張・グラウトまでの一式とする。

立花構造設計事務所
立花 薫

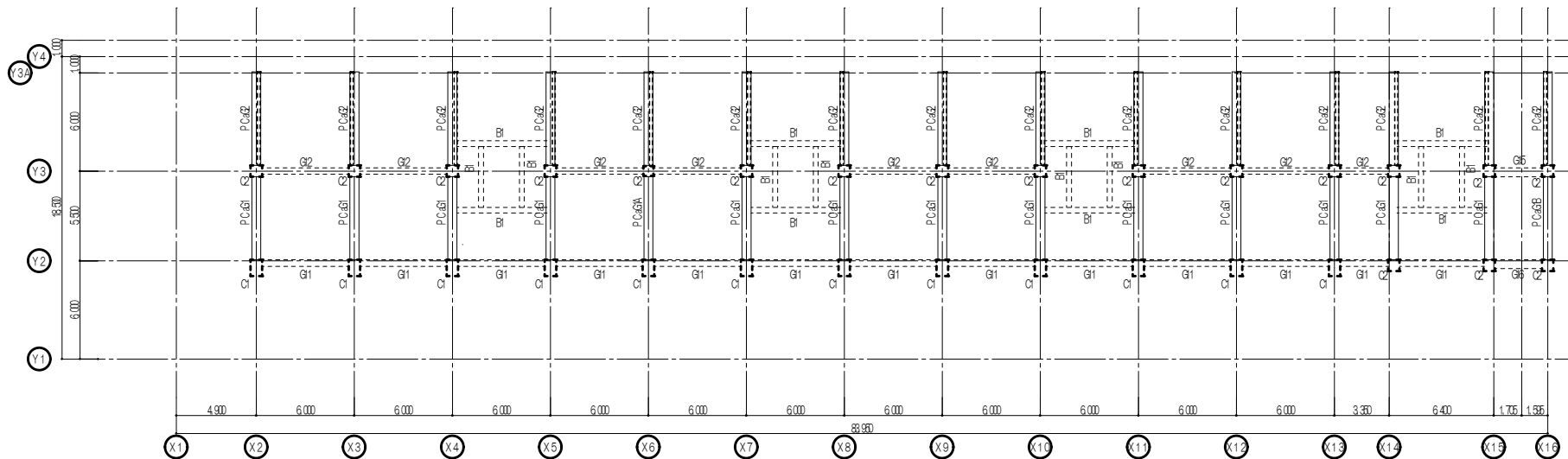
JOB	R1営繕 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務		NO
TITLE	プレキャスト及び プレストレストコンクリート工事特記仕様書	SCALE	DATE

S-62	株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗	1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491
------	------------------------------	--



PC段床 平面割付図 S=1:200


※特記なき踏み石符号は a1 とする。

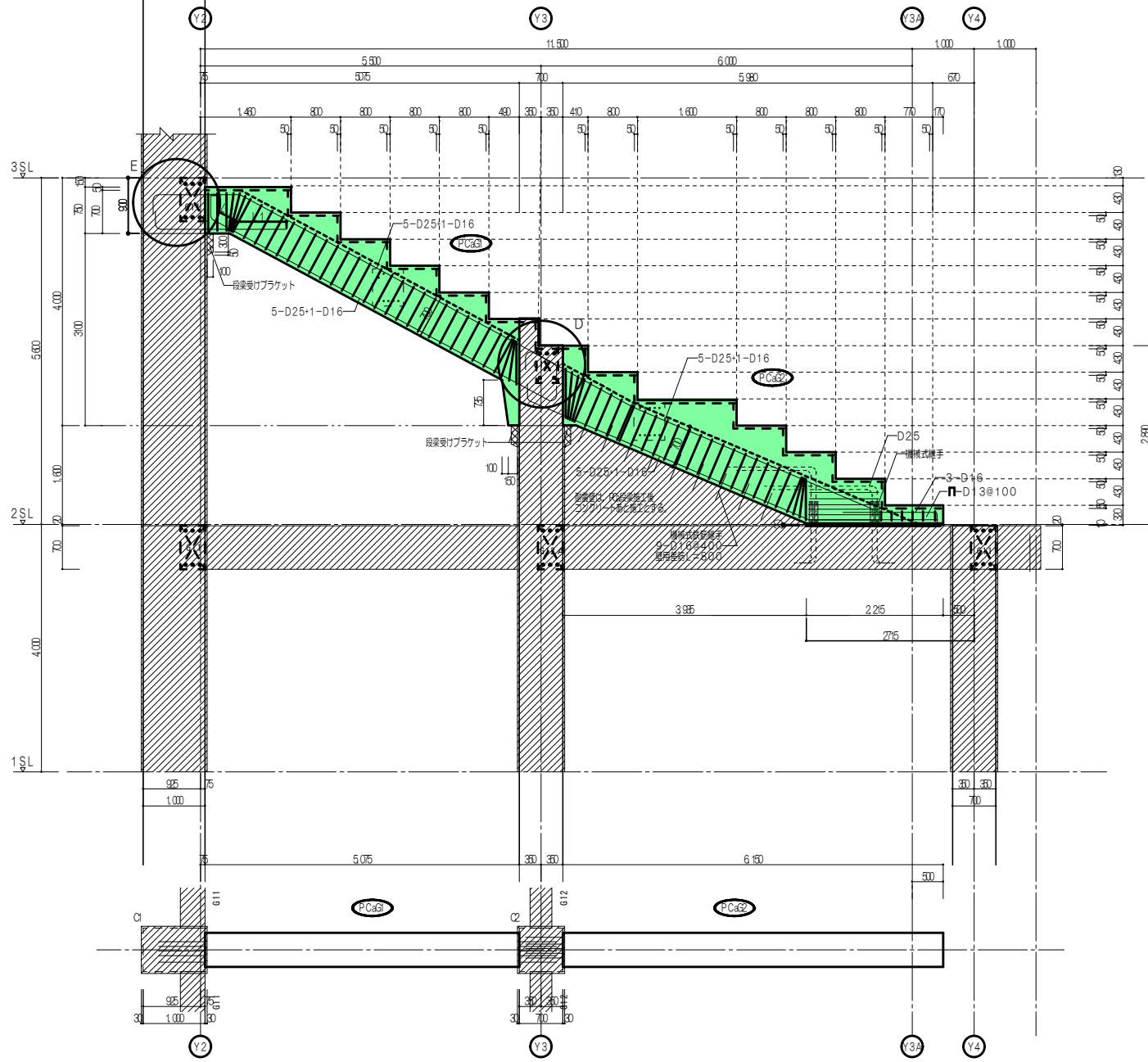


PC段梁 KEYPLAN S=1:200

立花構造設計事務所
 代表取締役 立花 真

JOB	R1宮繕 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務		NO	S-63	
TITLE	PC段床 平面割付図 PC段梁 KEYPLAN	SCALE	1:200	DATE	


 株式会社 松村建築計画研究所
 管理建築士 松村 史朗
 1級建築士登録119292号
 PHONE (088) 686-6491

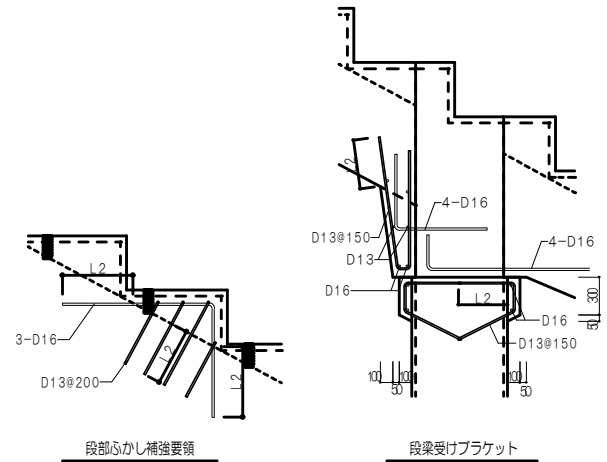


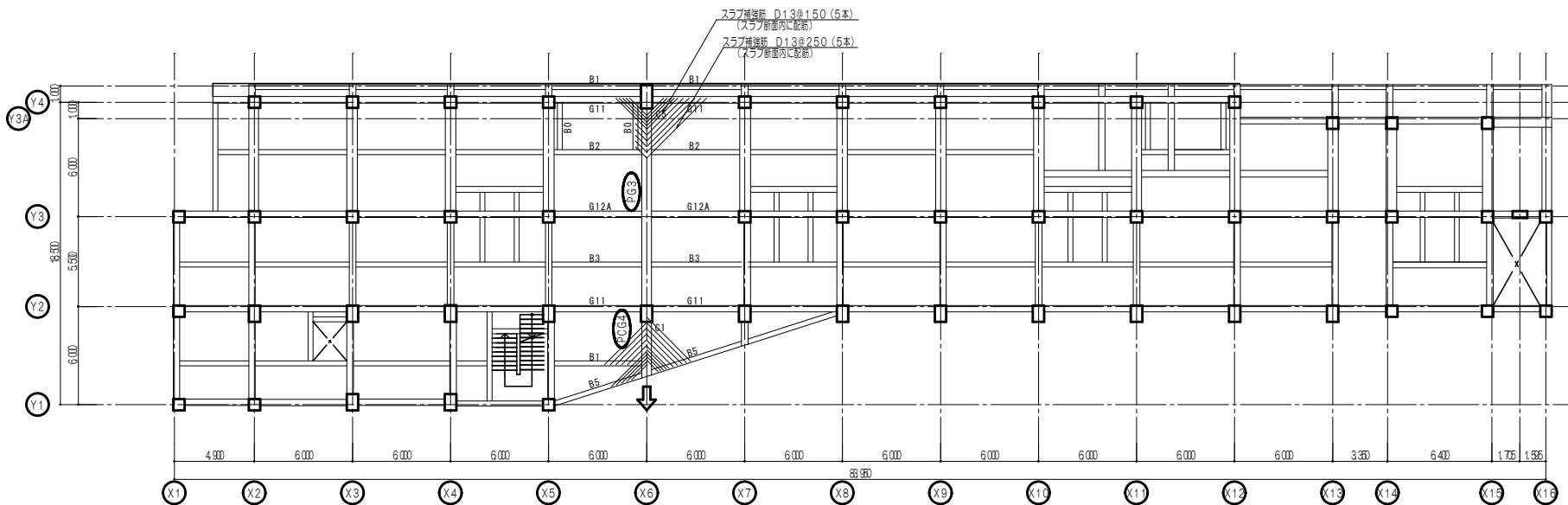
PC段梁 断面割付図 S=1:50

※ 斜線は現場打ち部を示す。

PC段梁リスト S=1:40

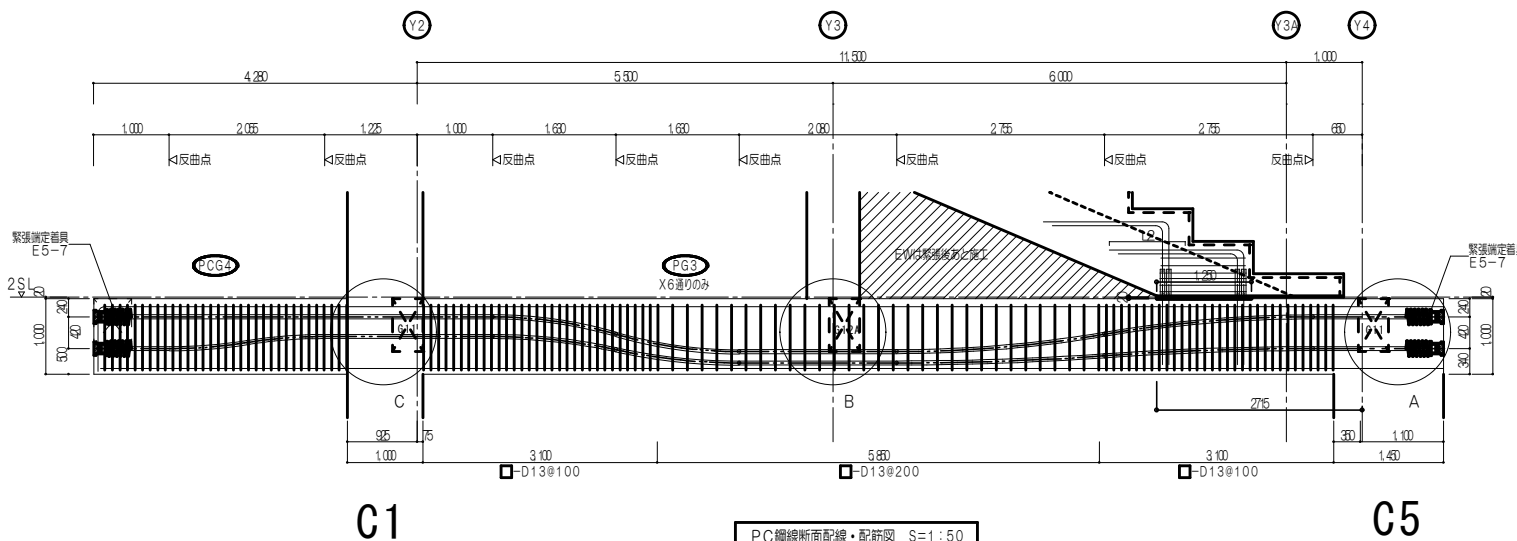
符号	PCaG1 (GI) [GI]		
	⑩ 端部	中央部	⑪ 端部
断面			
上 筋	99[B-D25+1-D16]	5-D25+1-D16	5[B-D25+1-D16]
下 筋	96[B-D25+1-D16]	5-D25+1-D16	5-D25+1-D16
スタ-ラップ	□-D13@200		
冊 筋	4-D10		
符号	PCaG2		
	⑩ 端部	中央部	⑪ 端部
断面			
上 筋	5-D25+1-D16	5-D25+1-D16	5-D25+1-D16
下 筋	5-D25+1-D16	5-D25+1-D16	5-D25+1-D16
スタ-ラップ	□-D13@200		
冊 筋	4-D10		





2階 KEYPLAN S=1:200

※ ← は緊張方向を示す。



PC鋼線断面配線・配筋図 S=1:50

PC大梁リスト S=1:40

符号	PG3 (X6通りのみ)		
	②端部	中央部	④端部
断面			
上 鋼 筋	5-D25	5-D25	5-D25
下 鋼 筋	5-D25	5-D25	5-D25
スターラップ	□-D13@100	□-D13@200	□-D13@100
腹 筋	4-D10		
PC鋼材	4C-7-SWPR7B-φ12.7mm		
符号	PG4		
	全断面		
断面			
上 鋼 筋	5-D25		
下 鋼 筋	5-D25		
スターラップ	□-D13@100		
腹 筋	4-D10		
PC鋼材	4C-7-SWPR7B-φ12.7mm		

立花構造設計事務所
代表取締役 立花 真

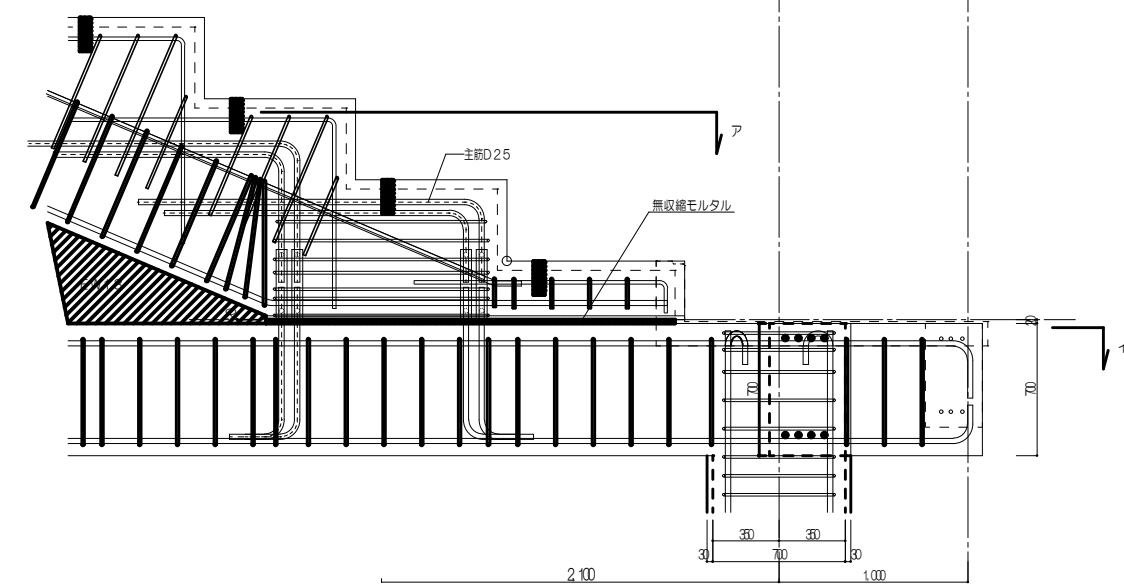
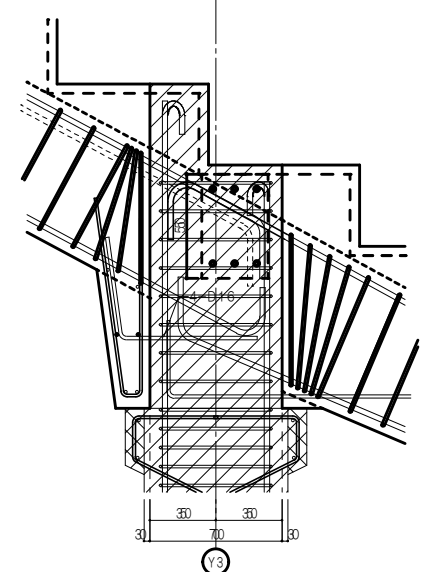
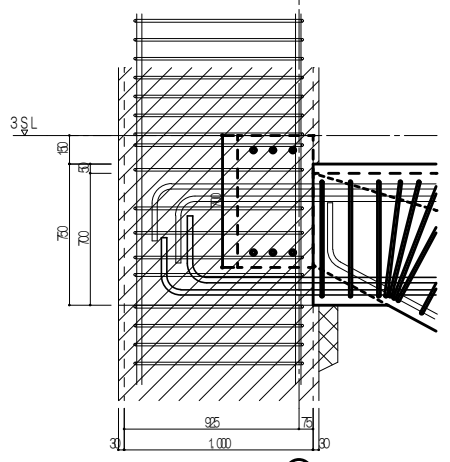
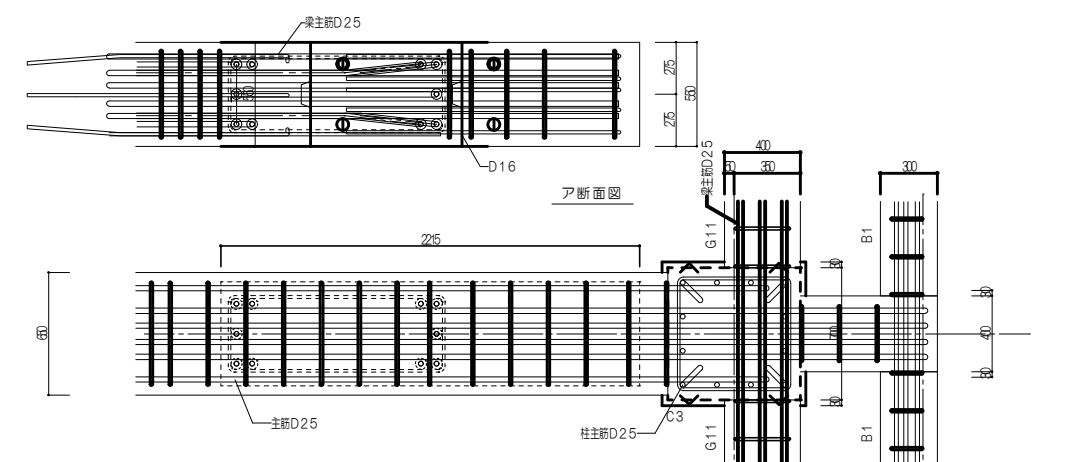
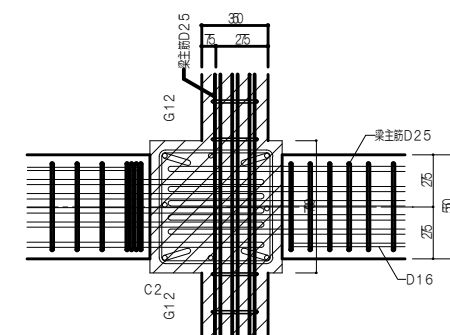
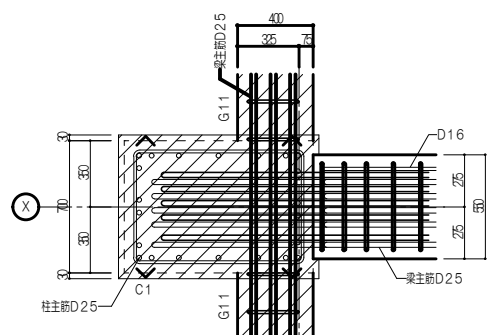
JOB	R1宮繕 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務		
TITLE	2階PC梁 KEYPLAN PC鋼線断面配線・配筋図・リスト	SCALE	1:200, 50, 40
DATE			

NO
S-65



株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491



E 部

D 部

A 部

納まり詳細図 (2) S=1:20

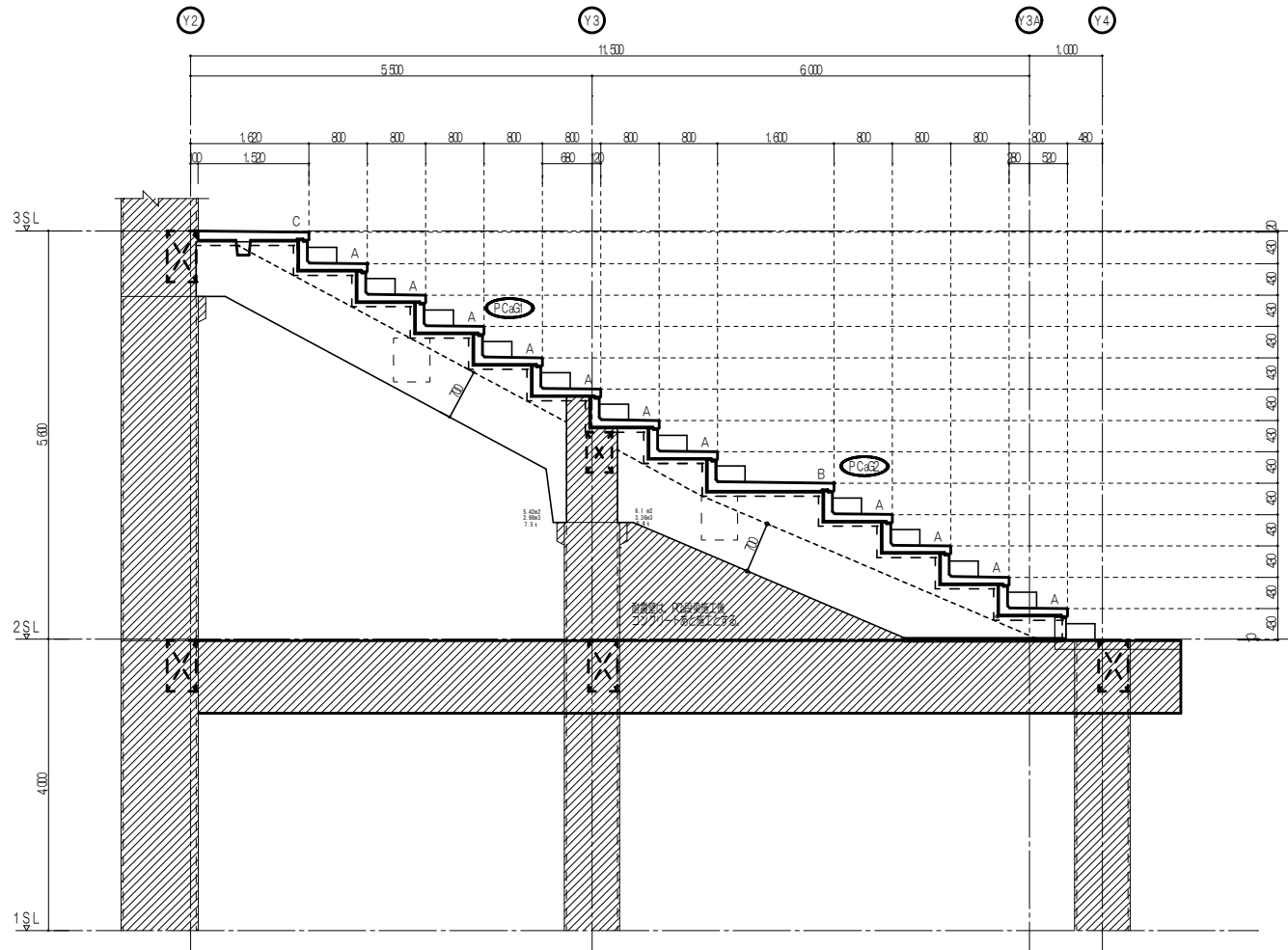
立花構造設計事務所
立花 薫

JOB R1宮織 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務	NO S-67
TITLE 納まり詳細図 (2)	SCALE 1:20
	DATE



株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491



PC段床 断面割付図 S=1:50

※ [Hatched] は現場打ち部を示す。

立花構造設計事務所
 代表取締役 立花 薫

JOB R1宮織 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務	NO
TITLE PC段床 断面割付図	SCALE 1:50
DATE	S-68

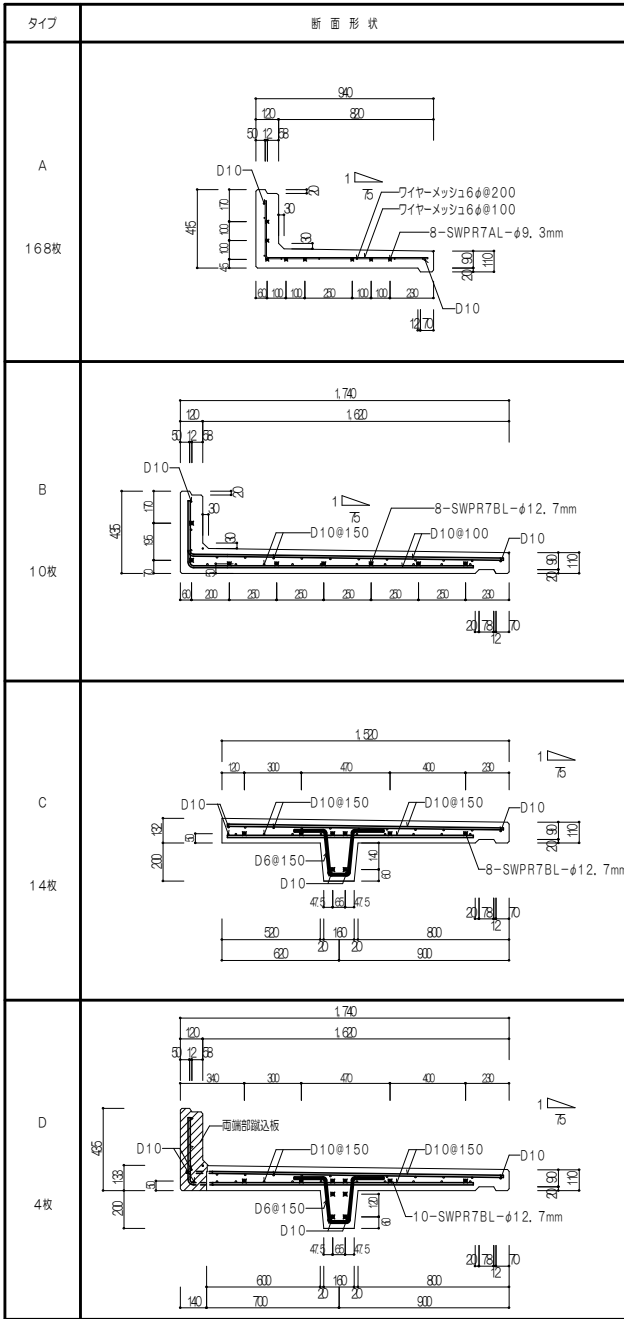


株式会社 松村建築計画研究所
 管理建築士 松村 史朗

1級建築士登録119292号
 PHONE (088) 686-6491

PC段床 断面表 S=1:20

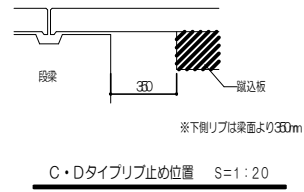
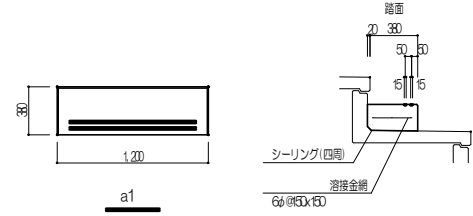
L1



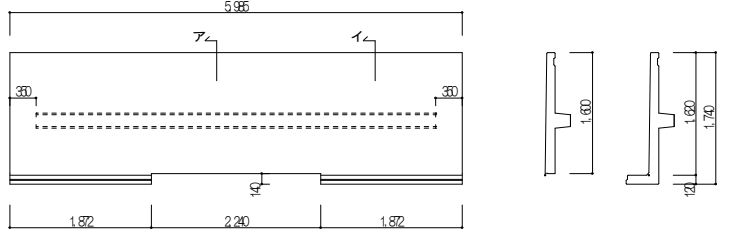
タイプ	断面形状	版符号	部材長 L	部材数	備考
A	168枚	A-1	5,985	88	
		A-a	6525	6	
		A-b	6525	6	
		A-2	5,835	6	
		A-3	3,610	11	
		A-4	3,560	11	
B	10枚	B-1	5,985	8	
		B-3	3,610	1	
		B-4	3,560	1	
C	14枚	C-1	5,985	11	
		C-2	5,835	1	
		C-3	3,610	1	
		C-4	3,560	1	
D	4枚	D-1	5,985	3	
		D-2	5,835	1	
		合計	196 枚	0.280.23n2	

PC踏み石 断面表 S=1:30

タイプ	断面形状	版記号	部材数	備考
断面形状	a	a1	139	
				合計



C・Dタイプリブ止め位置 S=1:20



Dタイプ平面形状図 S=1:50

立花構造設計事務所
立花 薫

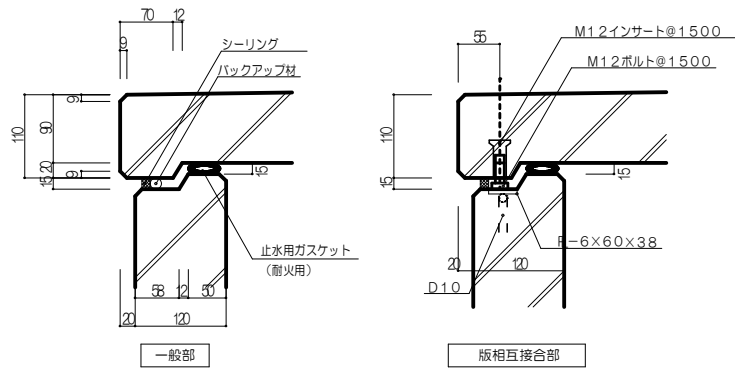
JOB	R1宮縄 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務
TITLE	PC段床・PCa踏み石 断面配筋表
SCALE	1:20, 30, 50

NO	S-69	株式会社 松村建築計画研究所 管理建築士 松村史朗
DATE		1級建築士登録119292号 PHONE (088) 686-6491

止水用ガasketは1時間耐火用とする。

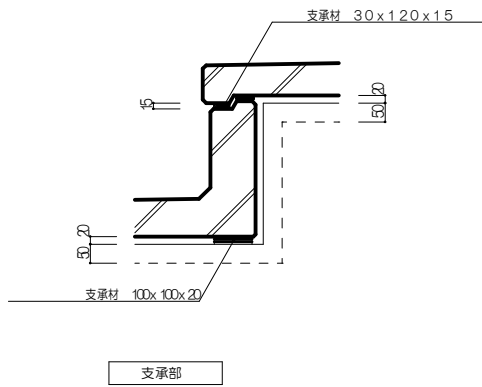
PC段床版-PC段床版 取合詳細図(横目地部)・支承部

1/5



一般部

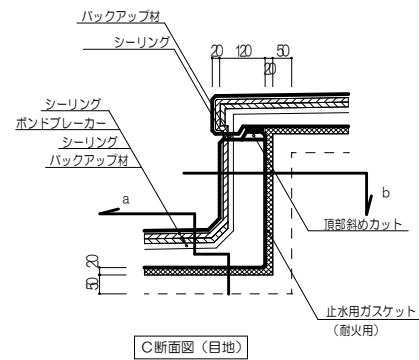
版相互接合部



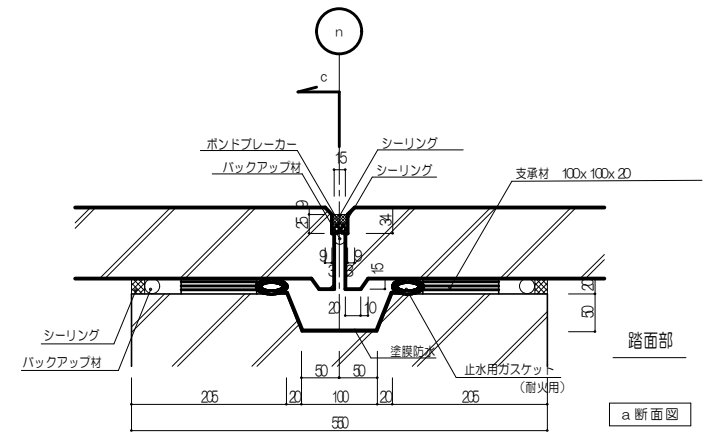
支承部

PC段床版-PC段床版 取合詳細図(縦目地部)

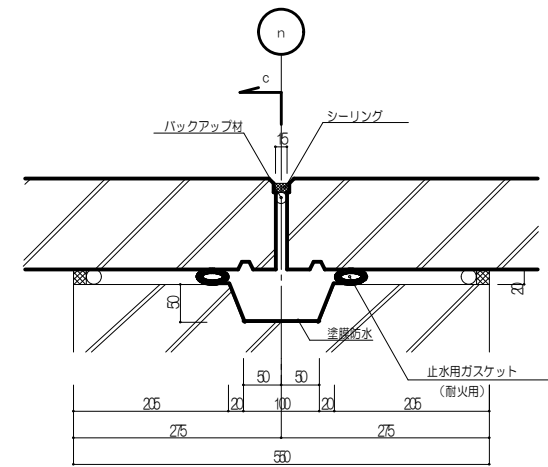
1/10, 1/5



C断面図(目地)



a断面図



b断面図

立花構造設計事務所
立花 薫

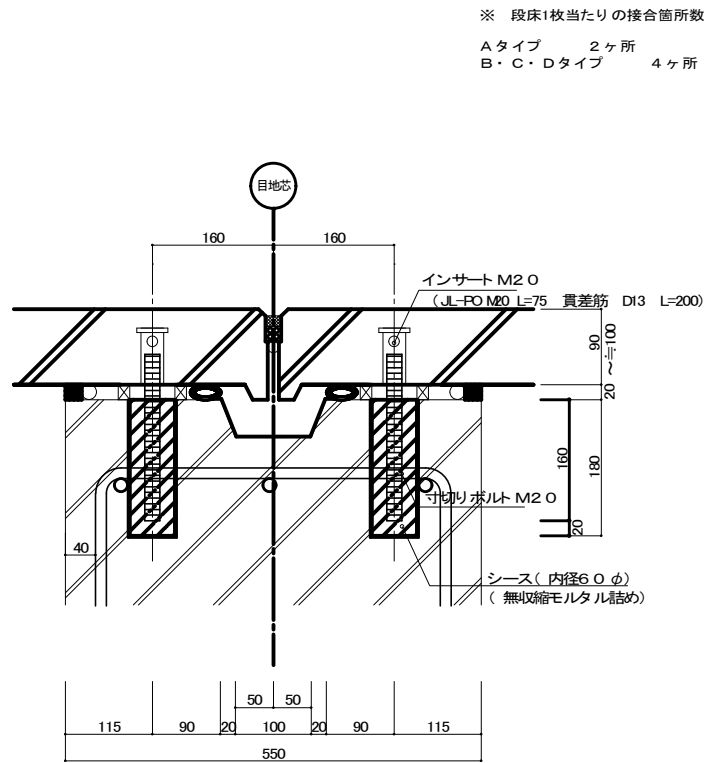
JOB R1宮織 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務	NO S-70
TITLE PC段床 詳細図(1)	SCALE 1:10.5
DATE	



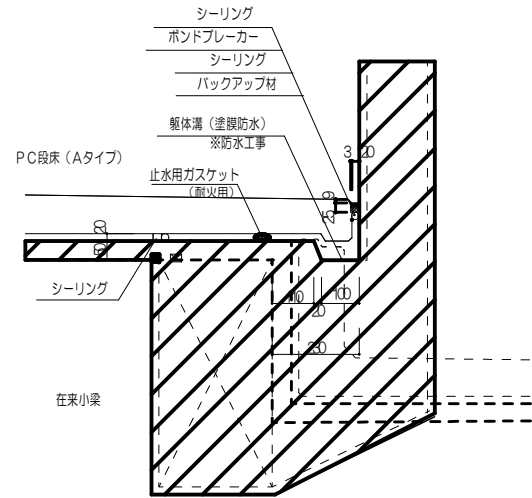
株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491

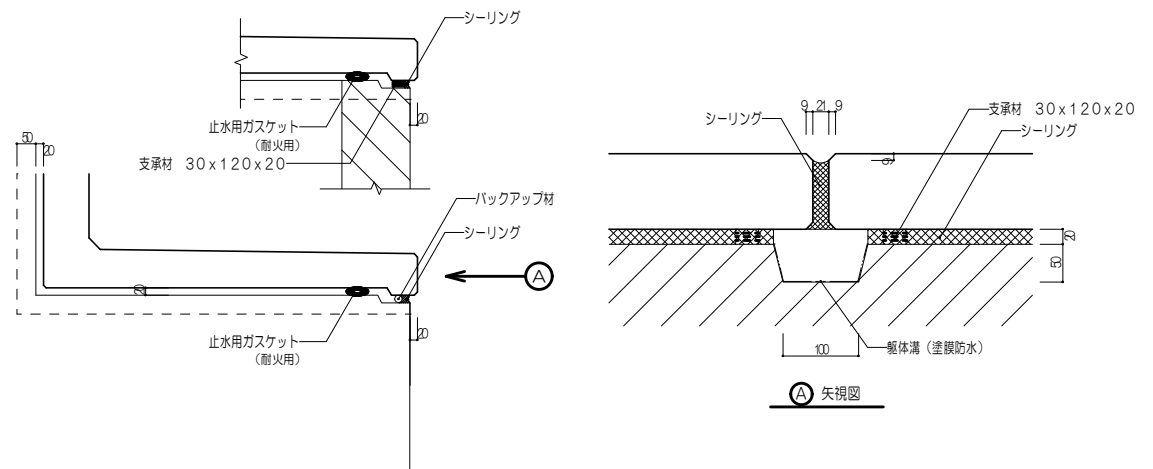
PC段床-PC段梁接合部詳細図 ※ダボピン接合 1/5



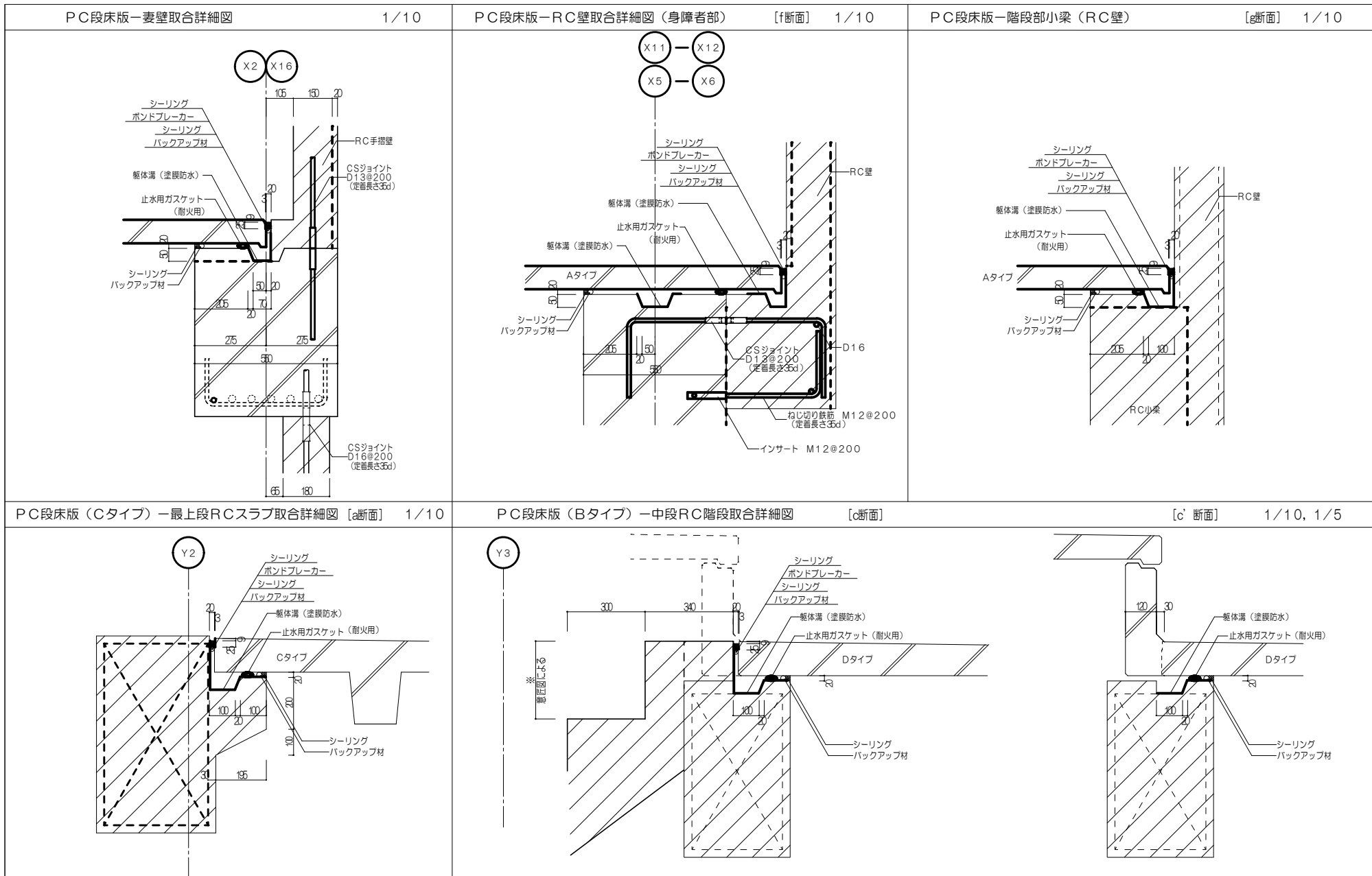
PC段床版-階段部小梁(RC壁),身障者部RC壁 [b断面] 1/10



PC段床版-RC床最下段 取合詳細図 [c断面] 1/10, 1/5



止水用ガスケットは1時間耐火用とする。



JOB	R1宮縄 蔵本公園 徳・庄町1 プールスタンド改築他設計業務	
TITLE	PC段床 詳細図 (3)	
SCALE	1 : 10, 5	DATE

NO
S-72



株式会社 松村建築計画研究所
管理建築士 松村史朗

1級建築士登録119292号
PHONE (088) 686-6491

立花構造設計事務所
立花 薫